

普及活動情勢報告（平成27年6月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

施設米ナスでも環境制御技術をやってみませんか・米ナス生産者環境制御技術勉強会開催・



6月9日、四万十農園あぐりっこ会議室において環境制御技術の基礎及び環境制御技術導入加速化事業等の勉強会を開催しました。少しむづかしい内容もありましたが、環境制御とはどういうものか再確認してもらいました。また、環境制御技術導入加速化事業について周知しました。

参加者からは、まずは継続した勉強会によってその技術を把握したいとの意見がありました。今後、JA 営農指導員と連携して他の品目でも勉強会を開催し、ハウス内環境制御技術の重要性や事業の推進を図っていきます。

集落営農で地域農業を守ろう

・・・集落営農組織設立準備委員会の立ち上げ・・・



5月26日に土佐清水市下益野集落において、地元農家13名により、集落営農組織設立に向けた準備委員会が開催されました。

下益野集落は地元の大規模農家が急きょ農業を止めることとなり、10ha以上の農地を地元で耕作する必要に迫られました。そこで、関係機関が協力して集落内で協議を重ねた結果、集落営農組織設立に向けた準備委員会を立ち上げることとなりました。

農業改良普及課は、今後の活動スケジュール、集落ビジョン、視察研修など、組織設立に向けた提案と支援を行っています。

進めよう集落営農

・・・ふぁーむ薮ヶ市が設立されました・・・



四万十市西土佐の薮ヶ市集落では、集落営農組織設立に向けた話し合いを行い、6月2日に13名の出席でふぁーむ薮ヶ市が設立されました。

今年度は県事業を活用して、農業用倉庫や共同利用機械の導入を行い、集落農地の維持と農業生産の継続していく基礎固めを行います。

農業改良普及課では、事業導入から組織活動の発展に向けて、幅広い支援を行っています。

佐賀ならではの加工品を作ろう

・・・6次産業化に向けてチーム会を開催・・・



6月10日、6次産業化推進事業を活用し、商品開発や加工品の販売促進に取り組む、黒潮町佐賀北部活性化推進協議会食部会のチーム会を開催しました。

「食部会」は、集落活動センター推進事業費補助金で改修された加工場を活用して、さが谷三里マーケットにお寿司や餅、お惣菜を販売しています。第1回目のチーム会では、推進事業の説明や食部会の概要について報告した後、地域資源の活用方法や今後の取り組みを検討しました。

今後、農業改良普及課では、アドバイザーとのマッチングを行いながら、組織の活性化や試作品づくり、販売拡大に向けて支援を行います。

イチゴの育苗がはじまりました

・・・イチゴ現地検討会の開催・・・



5月22日、JA高知はた宿毛支所イチゴ部会の育苗現地検討会が開催されました。部会11人全員のほ場を回り、各生産者の育苗状況の確認を行いました。農業改良普及課からは病虫害管理や育苗管理について説明し、今後発生する病虫害について防除の徹底を図りました。

農業改良普及課では今後も定期的に現地検討会を開催し、イチゴの安定生産に向けて支援していきます。

収量も担い手も増やしていきましょう

・・・JA高知はた宿毛支所イチゴ部会総会・・・



6月12日にJA高知はた宿毛支所イチゴ部会の総会が開催されました。部会員12名と関係者が集まり、H27園芸年度を振り返りました。農業改良普及課からは、本部会で栽培されているさがほのかの品種特性や育苗管理方法や、炭疽病や萎黄病防除徹底や土壌消毒について説明を行いました。また担い手確保の必要性についても説明し、収量アップ、新規生産者の確保の重要性について生産者に認識され、今後これらの課題について取り組んで行くことで意識が統一されました。

今後も現地検討会や巡回指導を通して、部会活動の支援を行っていきます。

市場評価の高い新ショウガ生産を目指して・・・JA 高知はた大方園芸部生姜部・・・



6月18日、JA 高知はた大方園芸部生姜部が大方出荷場において、新ショウガの本格的な出荷を前に選別基準を確認するとともに、高温期の腐敗による市場事故を防止するために目慣らし会を行いました。農業改良普及課は、営農指導員と協力して、新ショウガ洗浄後の環境データに基づいた腐敗防止対策について説明しました。これまで改善策の実施により年々腐敗発生件数は減少していますが、生産者は市場事故発生防止に改めて気を引き締めていました。

今後、農業改良普及課は調整作業環境の確認や改善指導により市場事故が発生しないよう取り組んでいきます。

高知県産酒米による日本酒造りに向けて・・・大宮酒米栽培研修会の開催・・・



5月25日、四万十市西土佐大宮地区にて、酒造好適米「吟の夢」の生産者6名が集まって栽培講習会が開催されました。農業改良普及課からは、田植え後の栽培管理について説明しました。会では除草剤の適正な使い方や効果の効き方についても質問がなされ、活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課では今後も研修会や現地検討会を開催し、酒米栽培の推進を図っていきます。